



北海道150年事業を行っています



北海道と命名されて150年にあたる今年、全道で北海道150年事業が行われています。

当館も、北海道150年記念式典会場でのブース出展やふるさと動画DVDの出張上映会など様々な取組を行っています。(詳細は特集1でご紹介します。)

## 目 次

- ▶ にれ「そっと寄り添う図書館であるために」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ▶ 特集1「北海道150年事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ▶ 特集2「道立図書館・道立近代美術館連携事業を始動」・・・・・・・・・・ 5
- ▶ 活動報告
  - 「平成30年度全道図書館新任職員研修会」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 「平成30年度全道図書館中堅職員研修会」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 「雑誌よみたい探検隊結成！ 第2書庫ツアー」・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ▶ 連載・仕事紹介「道立図書館ではたらいています！～各課の1日～」・・ 9
- ▶ 平成30年度上半期事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ▶ 掲示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

に れ

## 「そっと寄り添う図書館であるために」

北海道立図書館長 武田 信吾

豪雨災害、胆振東部地震で被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

また、道民の皆様には、アスベストの関係で臨時休館しておりますことに、深くお詫び申し上げます。

現在、臨時受取窓口を開設し、予約本の貸出し、返却業務を行っておりますが、こうした状況にもかかわらず、毎日、熱心な利用者の方にお越しいただいております。また、ボランティアの方にも来ていただき、返却本の配架などのお手伝いもしていただいているところです。本当に有り難く、当館職員も日々励まされ、勇気づけられております。

今年度は、残念ながら閲覧等については、十分なサービスができない状況ではありますが、これまでと同様、市町村立図書館や学校図書館等への協力貸出し、活動支援事業の実施等のほか、研修会、電話等によるレファレンス業務等も引き続き実施しております。

昨今、人口減少や少子高齢化、グローバル化や高度情報化、子どもの貧困の問題など社会情勢が大きく変化し、図書館を巡る状況も大きく変わってきており、全国的にも図書館のあり方が見直され、それぞれの地域の実情を踏まえながら、様々な特色を持った図書館が誕生しております。

そうした中、当館も、あと数年で創設100年目を迎えようとしておりますが、運営の基本方針である「図書館の図書館」「何でもわかる図書館」「道民みんなの図書館」を基本としながら、社会情勢の変化等を踏まえつつ、先を見据え、道立としての役割、一つの図書館としての役割、これらの役割をどのように十分果たしながら事業展開していくか。非常に難しい課題ですが、いずれにしても、こんな本が読みたい、これを調べたい、こんな勉強をしたい等、〇〇したいと思ったときに、いつもそこに道立図書館が控えているように、道民の皆様寄り添った、少しでもお役に立てる図書館であるために、常に見直しを行いながら事業展開していきたいと考えております。

今年度、新たな取組として、北海道150年事業として本道の歴史や文化、アイヌの人たちの生活などを記録した映像をDVD化した「ふるさと動画DVD」を、市町村立図書館や学校、個人などに貸し出し、高齢者大学や町内会、生徒会活動等、幅広く活用いただいております。

また、道立近代美術館や旭川美術館、函館美術館などとの連携事業として、当該美術館において、特別展に関連した当館所蔵の図書を手に取ってご覧いただけるよう展示する企画なども始めました。少しずつでも前に進められたらと思っております。

皆様には引き続きご迷惑をお掛けすることになりますが、来年4月には、これまで以上に多くの道民の皆様にご利用していただけるよう職員一同頑張っていきたいと思っております。

## 北海道150年事業

「北海道」命名から150年目にあたる今年、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、一体となって節目の年として祝うとともに、未来を展望しながら、互いを認め合う共生の社会を目指して、次の50年に向けた北海道づくりに継承していくことなどを基本理念とした「北海道150年事業」が全道で実施されています。

当館も、「北海道150年事業」関連事業として、北海道150年記念式典会場におけるブース出展、ふるさと動画DVDの出張上映会、北海道150年を所蔵資料でたどる展示等を行っています。

### ■「出張！ふるさと動画DVD」事業

本道の歴史や文化、アイヌの人たちの生活などを記録した映像をDVD化した「ふるさと動画DVD」は、市町村立図書館や学校、個人などに貸し出し、幅広く活用いただいておりますが、今年度、当館の職員が上映会場にお邪魔して映像の背景を解説するなど、上映会のお手伝いをする「出張！ふるさと動画DVD」事業を行っています。



DVDの上映（かみすながわ炭鉱館）

#### 〈出張！その1〉

6月30日（土）、上砂川町教育委員会が月1回、土曜日に小学生を対象に行っている読書活動推進事業「絵本DEココロ」にお邪魔しました。いつもは町民センターで行われている事業ですが、今回は、かみすながわ炭鉱館を会場に、10人の子どもたちが、炭鉱の元社員の方からお話を聞いたり、昭和41年の上砂川町の様子を記録したDVDを見たりしました。



クイズに真剣に取り組む子どもたち  
（かみすながわ炭鉱館）

町教委では、この機会に町の歴史への理解が深まるよう、「上砂川新旧対比クイズ」を作成しました。床に広げた大きな航空写真の上で、現在の写真と同じ場所を写した昔の写真を見つけるというもので、子どもたちは、新旧の写真を見比べたりスタッフに質問したりしながら、町の歴史を学んでいました。

#### 〈出張！その2〉

7月22日（日）、市立小樽図書館では、北海

道命名150年事業として、「北海道立図書館所蔵の貴重な映像と資料でみる北海道150年」を行い、30人の市民が参加しました。当館北方資料室所蔵のDVD「北海道の開拓（営農編）」や同館が所蔵する映像を上映し、両館の職員が解説を行いました。またこの1週間前から、同館では、戦前戦後の北海道開拓に関する資料や当館が所蔵している戦前、戦後の小樽や北海道各地の風景写真が使用されている絵はがきの展示を行っており、これらの資料についても解説を行いました。



DVDの上映（市立小樽図書館）

### ■資料展示「道立図書館所蔵資料で振り返る北海道の150年」

#### 資料展示解説「道立図書館所蔵資料で振り返る北海道の150年」

8月1日（水）から31日（金）まで、道立生涯学習推進センター「情報交流広場（まなびの広場）」（札幌市中央区「かでの2・7」）において、北方資料室が所蔵する資料で北海道の150年をたどる資料展示を開催しました。



北海道50年（大正7年）の際に開催された北海道博覧会の絵はがき等

北方資料室では、図書や雑誌のほか、絵はがきやポスター、特別コレクションについては記念品等も資料として収蔵しており、この中から、北海道の名付け親である松浦武四郎の「東西蝦夷山川地理取調図」等の著作物、北海道50年（大正7年）、北海道100年（昭和43年）の際に行われた博覧会や記念式典に関するもの、昭和47年に開催された札幌冬季オリンピックの特別コレクション、札幌の新・

旧市街図などを中心に紹介しました。

通常は当館内で実施している資料展示ですが、まちなかの大きな会場で展示ができたことにより、当館に足を運ぶ機会のなかった方にも特別コレクション等を知っていただく貴重な機会となりました。

#### 展示解説ツアーも開催

展示期間中の8月19日（日）、会場において展示資料を解説するツアーを行いました。16名の参加者は、北海道50年や100年を記念して開催された博覧会の関連資料についてメモを取ったり、明治時代の札幌市街の地図にじっくり見入った



札幌冬季オリンピック開催に関する記念品等

りするなど、興味を持ってご覧になっていました。

ツアーの終りには、展示資料の中から北海道100年や札幌冬季オリンピックを記念して制作されたレコードを再生する時間を設けました。札幌市円山陸上競技場で開催された北海道百年記念祝典の様子や、オリンピックにおいてスキー70メートル級ジャンプで金メダルを獲得した笠谷幸生選手のインタビュー音声に「懐かしい」などの感想をいただきました。

11月には同じ会場で本道の子どもたちの150年をテーマとした資料展示を計画しており、詳細については当館ホームページ等でご案内する予定です。



明治32年、昭和28年の札幌の市街図を比較して紹介

### ■北海道150年記念式典会場ブース出展

札幌市豊平区の北海きたえーる（道立総合体育センター）において、8月5日（日）に北海道150年記念式典が、6日（月）と7日（火）に「青少年のための科学の祭典 in 北海道」が開催されました。3日間を通して、屋外の水と緑の広場では、36の展示ブースが設けられ、当館も



出展ブースの様子(8/5)

出展しました。

5日は、松浦武四郎の著作や足跡を紹介する「資料でたどる松浦武四郎の足跡」と題した展示を行うとともに、子どもたちに150年前の北海道に親しんでもらうよう、武四郎がつくった『新版蝦夷土産道中寿五六』で遊ぶ「〈体験コーナー〉武四郎のすごろくで遊ぼう」を設けました。



すごろくを楽しむ親子

6日と7日は、祭典のテーマに合わせ、木や森の動物に関する絵本等を紹介する「〈展示〉木や森をまなぼう」と、ネイパル砂川の協力の下、「〈体験コーナー〉缶バッジをつくろう」を行いました。

また、3日間を通して、「ふるさと動画DVD」を上映し、多くの方にご覧いただきました。

(北方資料課)

## 道立図書館・道立近代美術館連携事業を始動

今年度から、道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、近代美術館で開催する展覧会に併せ、美術館内に当館の蔵書を紹介するコーナーを新設しました。

昨年10月、当館では展示「高倉健さんを偲ぶ」を始めた直後、アスベスト含有天井材剥離による休館で中止になりました。一方、近代美術館では、11月下旬から巡回展「追悼特別展『高倉健』」が開催準備中であったことから、一緒に展示を行ったらどうかという企画が持ち上がりました。当館では、以前から美術展に併せた資料展示を館内で行っており、これがきっかけで、美術館の協力を得て、連携事業が始まりました。

連携第一弾は、4月から2か月間で10万人を超える入場者を見込む「ブリヂストン美術館展」で、当館としてはこれだけの人数は経験したことがなく、双方で資料の管理、配置場所等の検討を重ねました。



多くの方にご利用いただいています

最終的に、展覧会場を出たところに、表紙を見せることのできる照明付きで綺麗な棚と椅子・テーブルを置き、作品をご覧になった来場者が入りやすい落ち着いた空間をつくりました。

当初は、当館と美術館では展示の期間や開催回数、規模等の違いから、それぞれの視点での展示方法があり調整が必要でした。今回の連携により、1冊ずつタイトル等を表示することは所在確認に有効であることや、表示物は、文字や用紙の種類、長期的に掲示するための粘着材等に美術館全体の統一感を意識するという、利用者への見せ方について大変参考になりました。

美術館担当者には、「初めは管理が心配だったけれども、皆さん、きちんと戻してくれた。本は、利用者の満足度アップにつながる。」という感想をいただきました。第二弾は夏休み企画として子ども向けの関連展示を追加して、休憩コーナーに琉球畳を敷き、絵本100冊と調べものガイド「アートを調べる」を並べました。今年度は、あと3回。



くつろいだ雰囲気の絵本コーナー

担当者と相談しながら関連資料を集めています。当館の蔵書に触れる機会を増やし、展覧会鑑賞をより深めていただけるよう、双方の利用者に働きかける企画をこれからも考えていきます。

(利用サービス課)

## 平成30年度全道図書館新任職員研修会

この研修会は図書館活動に必要な基本理念の理解及び基礎知識の習得を図ることを目的に、道内の公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して原則1年未満の職員を対象として実施しています。定員60名に対し、65名の参加がありました。

今年度は例年の会場である北海道立図書館が臨時休館のため、札幌市中央図書館の協力を得て実施し、当館職員のほか、道内の図書館で活躍する職員を講師として迎え、図書館職員としての心構えや図書館現場の基本的な技術を学び、さらには各地の職員と交流を図る機会となりました。また、事後課題のレポートを作成することで、各職場に戻った後の研修内容の定着を図っています。



■期 日：6月14日(木)～15日(金)

■会 場：札幌市中央図書館3階講堂

■参加人数：65名

■日 程

### 【1日目】

講義「公立図書館の魅力」 道立図書館利用サービス部長 伊藤 信彦

講義「図書館最前線！！～カウンターの仕事～」

滝川市立図書館事業推進係長(司書) 深村 清美 氏

情報交換 道立図書館総務企画部企画支援課司書 南部 歩美

### 【2日目】

講義「著作権法 入門編」 道立図書館利用サービス部資料課主査 原田 英明

講義「道立図書館活用術」 道立図書館利用サービス部北方資料課主任 須田 希

講義「資料収集」 奈井江町図書館司書 栗原 真実 氏

講義・演習「児童サービス」 余市町図書館社会教育課図書館係主事(司書) 野呂 岬 氏

■事後アンケートから

- ・講師の実例を交えた話をいただき、とても分かりやすかったです。
- ・各講師の講義は、具体例や判断基準など即役立つ知恵ばかりでした。
- ・情報交換や絵本読み聞かせなど他館参加者との接点があったことは貴重で勉強になりました。
- ・今後はたくさんの繋がりを大切にしたいと思います。(企画支援課)

## 平成30年度全道図書館中堅職員研修会

この研修会は、図書館運営・企画能力の向上、変化する図書館ニーズに対応できるスキルの習得を図ることを目的に、道内の公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して3年以上の職員を対象として実施しています。今年度は、まちづくりや学校支援など、「地域に求められるサービスの提供」をキーワードに研修を実施し、概ね好評を得ました。

■期 日：7月5日（木）～6日（金）

■会 場：北海道立教育研究所 大講義室

■参加人数：27名

（※悪天候による交通機関運休等のため、8名欠席。）

■日 程

### 【1日目】

講義・ワークショップ「まちづくりにおける図書館の役割」

北海道科学大学教授 出口 寿久 氏

説明「第四次北海道子どもの読書活動推進計画について」

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

社会教育・読書推進グループ主査 西島 進一 氏

### 【2日目】

ミニ講座「円滑なコミュニケーションのために～価値観の違いについて～」

道立図書館総務企画部企画支援課主査 伊藤 嘉奈子

情報提供「デジタル資料で地域の記憶を掘り起こそう！」

道立図書館利用サービス部北方資料課主査 西岡 祐子

講義・演習「“司書のカ”で魅力的な図書館へ～レファレンス・インタビューのスキルアップを中心に～」

道立図書館利用サービス部利用サービス課長 宮本 浩

事例紹介「実践こ学ぶ学校図書館への支援」江別市情報図書館学校巡回司書 下宮 久美子 氏

新得町図書館司書 菊地 幸一 氏

講義・演習「司書教諭に学ぼう！授業に役立つブックトーク」

札幌市立上白石小学校教諭（司書教諭） 山田 佳子 氏

■事後アンケートから

- ・ワークショップやブックトークなど、幅広くバラエティに富んだ内容でした。
- ・学校図書館への支援と連携について、主体的に動かなくてはという意識が高まりました。
- ・まちづくりについてこれからのことが見え、大変勉強になりました。（企画支援課）



## 雑誌よみたい探検隊結成！ 第2書庫ツアー

今年度の当館は、アスベスト除去工事にとまなう臨時休館のため、書庫全体を案内できない状況にありました。しかし、工事対象となっていない第2書庫であれば書庫ツアーが実施できると考え、雑誌を中心に並べている第2書庫のみの書庫ツアーとしました。また、過去の書庫ツアーでのアンケートで、本を実際に見る時間がほしいという声が多くあったので、全体の半分にあたる時間を、参加者が実際に書架の中に入ってゆっくり雑誌を見る時間にしました。

■期 日：5月6日（日）

■会 場：北海道立図書館第2書庫

■参加人数：21名

当日は、あいにくの雨模様でしたが、21名の方が参加されました。臨時受取窓口から書庫内に入っただき、第2書庫2層で簡単に日程を説明しました。その後、4層に上がってから、3層（開架書庫）、2層を順にまわり、書庫の概要を説明しました。4層と2層については特徴的な雑誌をいくつか紹介しました。1層は、工事やサービスの都合でまわりませんでした。

2層での説明が終わってからは、自由に書庫の雑誌を手にとって、ゆっくり見てもらう時間としました。書庫の中に机と椅子を用意しており、参加者はめいめいが書庫から見つけた雑誌を手に取り、座ってじっくり読んだり、書架の中を探検したりと雑誌を楽しんでいました。



雑誌を見る時間は40分ほどとっていましたが、あっという間に時間は過ぎ、終了の時間となりました。事後アンケートでは、話し方や説明では高い評価をいただきました。しかし、人員の配置の都合上、自由に手に取れる場所を第2書庫2層に限らせてもらったところ、「他の層も見なかった」という声が多く

寄せられていました。工事の都合で今年度の開催はこの1回限りとなってしまいましたが、今後も実施していきたいと思えます。

（利用サービス課）

## 道立図書館ではたらいています！～各課の1日～

8:45 始業

今日も一日  
がんばりましょう！

**スタート**

### 北方資料課のある一日

北方資料課は、北海道や北海道に関係の深い旧樺太・千島列島に関する本の選択、受入れ、貸出しや、調べもののお手伝いなど、郷土に関するサービスを一手に引き受けている課です。そんな北方資料課のある一日を見てみましょう。



9:00

遠方の利用者から、調べもののメールが届きました。



9:30

蔵書を駆使して、利用者からの調査依頼に対応します。



10:00

北海道に関する出版物の情報をキャッチ！発行者に連絡を取ります。

13:00

図書館の資料を利用して、北海道関係のできごとについての講座を行いました。



12:00

お昼ごはんを食べて元気回復。



11:00

購入した本や寄贈された本を受け入れます。



15:00

来館できない利用者のために、資料をコピーして郵送します。



17:05

購入する本を決めるための会議を行います。

**ゴール**

17:30

業務終了。  
お疲れ様でした。

## 平成30年度上半期事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	平成30年度北海道図書館振興協議会第1回理事会・総会	平成30年4月19日	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、総会及び講話	38名	講話講師:吉田 真弓氏 (帯広大谷短期大学地域教養学科特任教授)
2	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①平成30年4月21日 ～6月24日 ②平成30年7月 7日 ～9月2日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介 ①「深める楽しむプリヂストン美術館展～北海道立図書館の蔵書から」 ②-1「みんなのアート1, 2, 3展 ～北海道立図書館の本から」 ②-2「日本の美・百花繚乱 ～北海道立図書館の蔵書から」	-	
3	雑誌よみたい探検隊結成！ 第2書庫ツアー	平成30年5月6日	北海道立図書館 第2書庫	臨時休館中のサービスとして、普段は利用者が入れない第2書庫の案内及び雑誌の閲覧	21名	
4	平成30年度北海道読書推進運動協議会総会	平成30年5月16日	札幌市 (かでの2.7)	平成29年度報告、平成30年度計画等	9名	
5	平成30年度全道図書館新任職員研修会	平成30年6月14日 ～6月15日	札幌市 (札幌市中央図書館)	道内の図書館等勤務1年未満の職員を対象とした、新任職員向け研修	65名	
6	出張！ふるさと動画DVD事業	平成30年6月30日	上砂川町 (かみすながわ炭鉱館)	「絵本DEココロ～炭鉱館へ行こう！」において、ふるさと動画DVD「上砂川町」の上映、ならびに映像の解説	10名	
7	平成30年度全道図書館中堅職員研修会	平成30年7月5日 ～7月6日	江別市 (北海道立教育研究所)	道内の図書館等勤務3年以上の職員を対象とした、中堅職員向け研修	27名	
8	出張！ふるさと動画DVD事業	平成30年7月10日	江別市 (大麻公民館)	大麻地区自治連合会連絡協議会の役員会において、大麻地区をアツクつたふるさと動画DVD「新しい町おおあさ」を上映し、地域での利用のPR	10名	
9	出張！ふるさと動画DVD事業	平成30年7月22日	小樽市 (市立小樽図書館)	市立小樽図書館で行われた「北海道立図書館所蔵の貴重な資料と映像でみる北海道150年」において、ふるさと動画DVDの上映、ならびに映像の解説	30名	
10	北海道150年記念式典会場ブース出展	平成30年8月5日 ～8月7日	札幌市 (北海きたえーる)	北海道150年事業として、松浦武四郎のすごろくや缶バッジ作り等	640名	
11	「北海道150年」事業 資料展示解説「道立図書館所蔵資料で振り返る北海道の150年」	平成30年8月19日	札幌市 (かでの2・7)	資料展示「道立図書館所蔵資料で振り返る北海道の150年」の展示資料についての解説	16名	
12	(第60回北海道図書館大会) ※9月6日(木)に発生した北海道胆振東部地震の影響により中止	(平成30年9月13日 ～9月14日)	札幌市 (札幌市教育文化会館)	基調講演、分科会、ブース展示等	-	

## 掲 示 板

### アスベスト除去工事等スケジュールについて

今後のスケジュールについて、次のとおりお知らせします。

利用者の皆様には、引き続き長期間にわたり、ご不便、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、何卒、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

#### ○ アスベスト除去工事等スケジュール

- |            |   |
|------------|---|
| H30. 3     | アスベスト除去工事 実施設計                              |
| H30. 6. 18 | アスベスト除去工事 入札                                |
| H30. 6. 26 | 図書館仮設事務所 工事着工                               |
| H30. 8. 31 | 図書館仮設事務所 工事完成                               |
| H30. 9. 10 | 図書館仮設事務所へ移転                                 |
| H30. 9. 15 | アスベスト除去工事 着手                                |
|            | (以下予定)                                      |
| H31. 2     | アスベスト除去工事 完了                                |
| H31. 3     | 図書館仮設事務所から移転、書架再設置、書籍の再配架<br>図書館仮設事務所 解体・撤去 |

※ 今後、工事の進捗状況等によって変更となる場合があります。

#### <職員人事異動>

退 職 平成30年3月31日付け

館 長	成 田 直 彦
総務企画部長	伊 藤 敏 文
北方資料室長	日 暮 文 行

転 入 平成30年4月1日付け

館 長	武 田 信 吾 (新しい高校づくり推進室長)
総務企画部長	藤 田 善 治 (総務政策局総務課総括グループ主幹)
北方資料室長	吉 原 和 夏子 (生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ主幹)

北海道立図書館報 第205号

平成30年10月 8日 発行

北海道立図書館長 武田 信吾

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL : 011-386-8521 ( 代 表 )

ダイヤルイン

386-8531 ( 総務企画部 )

386-8522 ( 利用サービス部 )

386-8523 ( 北方資料室 )

FAX : 011-386-6906

E-mail : support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ : <http://www.library.pref.hokkaido.jp>